



# コツコツ とことん

大仙市立太田中学校  
令和4年4月27日  
NO. 16



うらかに たくましく ~耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

(渡辺和子 『置かれた場所で咲きなさい』より)

## 人はどんな場所でも幸せを見つけることができる

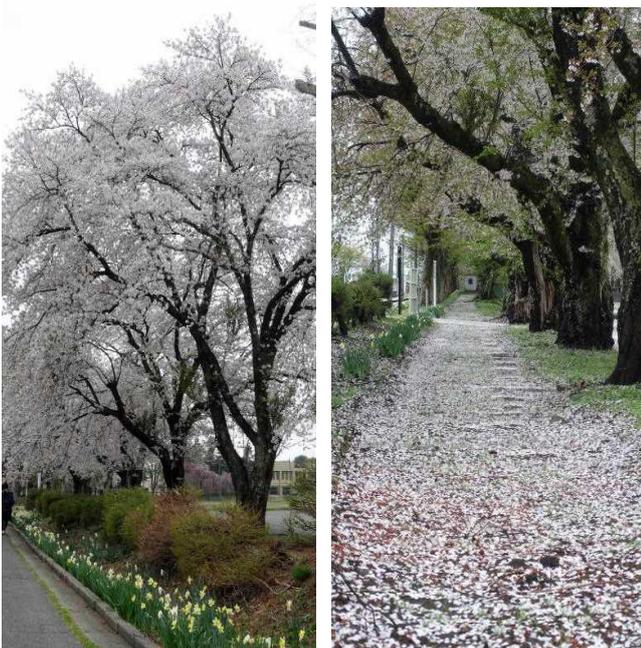


どんなところに置かれても花を咲かせる心を持ち続けよう

境遇を選ぶことはできないが、生き方を選ぶことはできる

「現在」というかけがえのない時間を精一杯生きよう

明日ありと思ふ心の仇桜  
夜半に嵐の 吹かぬものは



親鸞聖人が詠まれたと伝わる和歌です。

明日も咲いているだろうと思っていた桜も、夜のうちに嵐が吹いて散ってしまうかもしれないという意味から、明日はどうなるか分からないという、世の中や人生の無常を説いた歌です。

「明日でいい」という思いから、その機会を逃してしまう、先延ばしをすることで、想いの強さは薄れていく、また必ず明日があると思っても、何が起こるか分からない。今、このときが最も大切。寒い冬を越えて、春の訪れを知らせてくれる桜の季節には、単純に美しい桜を楽しみながらも、そんなことを教えてくれるこの歌を思い浮かべます。

太中生には、この歌の教えのように、「今を精一杯生きる」こと、「何事も先送りせず取り組む生活を送る」ことを願ってやみません。

### お願いします 生きるための箸持参!

今年から給食に箸が付かないことは昨年度からお知らせしているところですが、ここに来て「箸を貸してください」と職員室を訪れる生徒が各学年増えてきました。“帰宅したら自分で箸を洗い、拭いて、鞆の中に”それが習慣になってほしいと思います。その習慣が身に付くまでは、鉛筆より大切な「箸持った？」の一声をお掛けください。